

## 1. 自己評価及び外部評価結果

作成日 令和4年4月12日

## 【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4670103185
法人名	医療法人 慈恵会
事業所名	グループホーム ザテラス西田橋
所在地	鹿児島県鹿児島市西田一丁目11番1号 (電話) 099-213-0091
自己評価作成日	令和4年2月27日

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	<a href="http://www.wam.go.jp/content/wamnet/pcpub/top/">http://www.wam.go.jp/content/wamnet/pcpub/top/</a>
-------------	---

## 【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	NPO法人自立支援センター福祉サービス評価機構
所在地	鹿児島県鹿児島市星ヶ峯四丁目2番6号
訪問調査日	令和4年3月24日

## 【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

「ゆっくり やさしく おだやかに」を理念とし、職員のペースではなく利用者様のペースに合わせた毎日を送っています。毎日、朝礼で理念の唱和を行い、お互いが穏やかに過ごせるよう努めています。その人らしさを大切に、年をとっても「私が私らしく」余生を過ごしていけるよう生活歴を聞き出し、利用者様との会話を大事にしています。母体が土橋病院で、ほとんどの利用者様の主治医は土橋先生であり、月に2回、医師の訪問診療を受け、薬の処方、予防接種などできています。また、系列の訪問看護ステーションとも連携を図り安心して生活ができるよう支援しています。食事の提供も個別に工夫しています。コロナ禍で散歩や買い物などできませんが、季節を感じていただけるようフロアーの壁には壁絵を貼ったり室内でできる季節の行事を提供をしています。

## 【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

- ・当事業所は母体が医療機関であり、利用者の健康管理や緊急時の対応など、必要なサービスが受けれるような医療連携体制をとっている。
- ・「ゆっくり、やさしく、おだやかに」の理念のもと、職員はチームワークで支援に取り組んでいる。
- ・管理者は「コロナ禍の中で自分に出来る事を工夫してやっていきたい」という熱い思いを持ち、職員と共に働きながら今後のキャリアアップを目指し意欲的である。
- ・職場の雰囲気もよく、利用者寄り添った支援を行っている。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>I. 理念に基づく運営</b>					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員はその理念を共有して実践につなげている	理念である「ゆっくり、やさしく おだやかに」を毎日、朝礼で唱和し理念を意識した介護を心がけている。	理念はホールや食堂に掲示し、パンフレットにも掲載している。理念を毎日朝礼で唱和している。管理者は職員がバタバタしている時は一呼吸おいて仕事するよう声掛けしている。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一人として日常的に交流している	コロナ禍で地域の行事はほとんどなく、参加できていない。町内会には加入しており、回覧板なども確認させてもらっている。	コロナ禍で地域の行事は自粛している。町内会に加入し、回覧板を通して地域の情報を得ている。	
3		○事業所の力を生かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて生かしている。	コロナ禍でほとんどできていない。		
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	行えていない。	会議はコロナ禍で開催していなかったが、町内会長や民生委員とも話し合い、書面での交流を計画し、会議の書類を委員へ送付して、意見はサービス向上に活かしている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
5	4	<p>○市町村との連携</p> <p>市町村担当者と日頃から連携を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる。</p>	<p>利用者の様々な制度等の手続きや施設運営に関する手続きなど、わからないことは電話や窓口で相談している。</p>	<p>更新の手続きや施設運営に関して市役所に出かけたり電話をかけて相談したり助言を貰っている。研修会などには参加していない。</p>	
6	5	<p>○身体拘束をしないケアの実践</p> <p>代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。</p>	<p>身体拘束委員会があり定期的に勉強会を行い、職員間での意識向上を図っている。当ホームでは、いかなる場面でも身体拘束は行わない方針であり現在も守られている。</p>	<p>身体拘束マニュアルがあり、各自持っている。3ヶ月毎に身体拘束廃止委員会が中心となり勉強会で周知徹底を図り、拘束の無いケアの実践に取り組んでいる。日中の玄関の施錠はしていない。外出したい時は職員が同行し散歩している。</p>	
7		<p>○虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている</p>	<p>研修計画に盛り込み、職員の知識を養っている。理念を意識した介護を心がけていることが、虐待防止にも繋がっている。</p>		
8		<p>○権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。</p>	<p>当ホームの利用者にも家族の都合で成年後見制度を利用しているため、身近に感じている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
9		<p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。</p>	<p>契約時には、契約書及び重要事項説明書の説明を丁寧に行い、内容を理解していただいた上で契約の締結を行っている。専門用語など使わないようにわかりやすい言葉を心がけている。</p>		
10	6	<p>○運営に関する利用者、家族等意見の反映</p> <p>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。</p>	<p>コロナ禍で面会ができないが、毎月手紙や写真を送ったり電話をかけたりにして利用状況を報告している。</p>	<p>利用者からの意見や要望は、日頃の関わりの中で見出し反映する様に努めている。家族からはコロナ禍で面会ができないが毎月ホームでの利用者の様子を写真で家族に送ったり電話でのやり取りを行ったり、アンケートも実施し思いを把握し、運営に反映している。</p>	
11	7	<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。</p>	<p>常に職員の体調や精神面に気を配り言葉をかけるよう努めている。</p>	<p>管理者は職員とコミュニケーションを取ることを心掛け、体調や家族背景に考慮しながら働きやすい環境作りと職員のメンタル面への気配りを行い意見の反映に努めている。</p>	
12		<p>○就業環境の整備</p> <p>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。</p>	<p>休憩時間の確保や残業がないように1日の仕事を振り返り業務の内容を見直した。また、1年に5日間の有給休暇も取得できている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
13		<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	月に1回は、いろんなテーマで事業所内研修を行っており、職員の知識向上に努めている。		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	コロナ禍で研修などできていないが、書面での情報交換を行っている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
15		<p>○初期に築く本人との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている</p>	<p>入居前に事前面談を行い、在宅時の生活環境や本人のこだわりなどを確認し、安心して生活ができるよう配慮している。</p>		
16		<p>○初期に築く家族等との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている</p>	<p>いろいろな思いで入居を決断された家族の思いを察しながら、安心して生活ができるよう配慮している。</p>		
17		<p>○初期対応の見極めと支援</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている</p>	<p>本人の思いと家族の思いのズレに配慮し、本人の残存機能を見極め、ホームでの役割が持てるよう支援している。</p>		
18		<p>○本人と共に過ごし支え合う関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている</p>	<p>それぞれの身体状況や認知機能に応じて、できる限り役割をもてるよう配慮している。洗濯たみや茶碗洗い、デザートの盛り付けなど行ってもらっている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
19		<p>○本人と共に支え合う家族との関係</p> <p>職員は、家族を介護される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている</p>	<p>コロナ禍で家族との交流の場面が作れないが、毎月、手紙や写真、年に4回ホーム便りを送付したり電話で話をしたりしている。</p>		
20	8	<p>○馴染みの人や場との関係継続の支援</p> <p>本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている</p>	<p>コロナ禍で難しいが携帯電話を持っている利用者は友人と話をしている。</p>	<p>ホーム周辺に住んでいた入所者が多いため、利用者に代わり馴染みの店の商品を購入している。携帯電話で友人と会話することも推奨している。タイミングをみて家族と会話ができるよう支援している。受診の帰りに馴染みの場所に立ち寄りしたりしている。</p>	
21		<p>○利用者同士の関係の支援</p> <p>利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている</p>	<p>利用者の性格や認知症の状況などを考慮し、なるべく良好な人間関係が築けるように席位置や対応などを配慮している。</p>		
22		<p>○関係を断ち切らない取り組み</p> <p>サービス利用〈契約〉が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている</p>	<p>医療ニーズなどが高まり、医療施設などへの転居をする場合は、しっかりと相談業務を行い、ご家族や利用者に心配や負担をかけないように配慮している。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
23	9	○思いや意向の把握  一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	1人1人と向き合い利用者の思いや要望を聞くよう努めている。できるだけ本人の気持ちに寄り添えるようにしている。	入浴時や夜間ゆっくりしている時、寄り添いながら、個々に声かけして意向の把握に努めている。面会ができない中で、子供に会いたいとの希望者も多く、電話をかけたり、眼科や皮膚科受診などを通し家族と接する機会を作り、本人の思いに寄り添える様に支援している。	
24		○これまでの暮らしの把握  一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入居時に、生活歴のアセスメントを行い、ケアに活かしている。「私が私らしく」生活ができるよう支援している。		
25		○暮らしの現状の把握  一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	体操やレクリエーションの時間は集団活動を行っているが、自分の部屋で過ごしたい方は、安全な範囲で自由に過ごされている。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング  本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	ケアプランを作成する前は、ご家族に連絡をし、要望を聞き取るようにしている。利用者の意見は、普段のコミュニケーションを通じてアセスメントするようにしている。	本人や家族の意向や要望を取り入れて担当者会議を開き、主治医や看護師等の意見を参考にして介護計画を作成している。3ヶ月毎にモニタリングを行い、長期目標は年1回、短期目標は6ヶ月に1回見直しを行っている。状況変化時は随時の見直しもしている。	



自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		<p>○個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている</p>	<p>現場職員の意見や介護記録などを参考に、定期的なモニタリングを行い、提供しているサービスの評価などを行っている。</p>		
28		<p>○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</p> <p>本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる</p>	<p>利用者の日用品や消耗品の買い物などはご家族の負担も考え、職員で行うようにしている。また、個別での病院受診など、様々なニーズに対応できるよう努めている。</p>		
29		<p>○地域資源との協働</p> <p>一人ひとりの暮らし方を支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している</p>	<p>街中にあるので、地域資源は活用しやすい。食材は近くのスーパーや宅配を使用している。また、近隣の美容室や電気屋さんを利用している。</p>		
30	11	<p>○かかりつけ医の受診支援</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	<p>定期的に訪問診療があり診察や薬の処方を行っている。体調不良時は適切な医療機関との連携を図っている。歯科ニーズがある方は、訪問診療歯科を導入し診察を行っている。</p>	<p>かかりつけ医は協力医療機関になっている。月に2回健康状態を報告し必要に応じて医師の診察を受けている。眼科や皮膚科の受診と訪問歯科の診察も受けている。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		<p>○看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している</p>	<p>医療連携加算を算定しており、訪問看護師といつでも連携がとれる体制となっている。看護師が定期的に訪問し、利用者の体調確認などを行っている。必要時は医師の指示のもと医療的処置を行っていただいている。</p>		
32		<p>○入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。</p>	<p>入院先の医療従事者との情報交換を密に行い、治療状況や入院期間などの把握に努めている。契約規定により1ヶ月しか居室の確保ができないため、なるべく1ヶ月以内の退院をお願いしている。</p>		
33	12	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人や家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p>	<p>契約時に重度化した場合の指針を説明し、同意いただいた上で利用していただいている。施設のハード面で支援ができない場合や医療的ケアが必要になった場合は次の行き先の検討をお願いしている。</p>	<p>状態悪化時は老人保健施設や医療機関で対応してもらうシステムを入所時に説明し同意している。立位ができないと入浴やトイレ介助が困難となるため、老人保健施設と連絡をとりながら立位保持のためのリハビリを取り入れている。</p>	
34		<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、すべての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている</p>	<p>緊急時のマニュアルを作成し、職員間で周知し、報告、連絡、相談の徹底を促している。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
35	13	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p>	<p>消防避難訓練や消防設備点検など規定に則り適切に実施している。火災・地震発生時のマニュアルはフローアに掲示し、いつでも目につくようにしている。非常時の備蓄食材は法人で一括管理されている。</p>	<p>年に2回自主訓練を行っている。消防署や地域参加の訓練はコロナ禍の為、自粛している。避難経路や避難場所・緊急通報装置の確認、スプリンクラーの点検等は防火設備の業者がしている。火災地震発生時のマニュアルはフロアに掲示している。備蓄食材は老人保健施設で管理している。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保  一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	物忘れなどが著しく不穏になったり感情失禁がみられるかたもいらっしゃるが自尊心を傷つけないような言葉かけを心がけている。できることや成功体験を大切にし、自信が持てるような言葉かけができるよう努めている。	書面での研修を年1回実施している。トイレはアコーディオンカーテンを使用している。利用者には自尊心を傷つけない言葉かけの工夫や成功体験をほめ、自信が持てるよう支援している。入浴は個別に対応しプライバシーの確保に努めている。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援  日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	活動参加や日課の選択などできるだけ本人の意思で決定できるよう支援している。		
38		○日々のその人らしい暮らし  職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	基本的には利用者のペースに合わせた生活を提供しているが、入浴の時間や食事の時間はある程度統一させていただいている。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援  その人らしい身だしなみやおしゃれができるよう支援している	自分で身だしなみを整えられる方はお化粧品をしている。入浴の日は、職員と一緒に洋服選びをしている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
40	15	○食事を楽しむことのできる支援  食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	食事のメニューは偏りがないようにしている。食事準備や片付けなども利用者の習慣になっている。季節を感じる事ができるメニューや手作りお菓子などの提供をしている。	平日の昼食は老人保健施設から配食してもらい、週末の昼・夕食はホームで手作りしている。嗜好調査も行い食べる楽しみを工夫している。行事食を利用者と一緒に作りながら季節感を味わっている。季節の食べ物、スイカなど提供している。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援  食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	十分な栄養や水分が確保できるようバランスの取れた食事の提供を行っている。摂取量が少ない方は栄養補助食品を併用している。		
42		○口腔内の清潔保持  口の中の臭いや汚れが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	食後は必ず全員に口腔ケアを実施している。定期的な義歯消毒や歯ブラシの消毒・交換を行っている。		
43	16	○排泄の自立支援  排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	自発的にトイレに行かれる方が多いが、尿・便意がない方は、その方の排泄パターンでトイレ誘導を行い、失禁がないよう工夫している。失禁している場合は、自尊心に配慮し、速やかに交換している。	個々の排泄パターンを把握し、定期的にトイレ誘導している。日中はトイレでの排泄を支援している。夜間はポータブルトイレを使用したり、パットを使用し、自尊心を傷つけない様配慮している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	食事、水分、運動をしっかりと行うように心がけている。乳製品や食物繊維が多い食品を提供するようにしている。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援している	基本的に週3回の入浴を提供しているが、できるだけ満足していただけるよう、その方のペースに合わせている。個々の情報を把握し入浴介助している。	週3回入浴できるよう支援している。身体面で不自由な利用者も浴槽に入れる様に工夫している。入浴は本人の意向を大切にしながら柔軟に対応している。入浴を拒む時は、日を変えたり、時間をずらしたり、介助者を変えたりして対応している。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	消灯時間は決めておらず、就寝時間は個人の望む時間に合わせている。定期的に巡視を行い、睡眠状態の確認をしている。就寝中の室温や湿度にも注意している。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	西田調剤薬局と連携を図り、薬の作用や注意点など確認している。基本的には職員が管理しており、誤薬がないよう十分注意している。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活暦や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	残存機能を把握し、それぞれに応じた役割が持てるように努めている。洗濯たたみや食器洗いは日課として行ってもらっている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
49	18	<p>○日常的な外出支援</p> <p>一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるように支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。</p>	<p>コロナ禍で実施できていない。</p>	<p>コロナ禍のため医療機関受診時のみの外出支援としている。帰りに神社に立ち寄ることもある。</p>	
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	<p>お小遣いは、施設で預かっており本人の嗜好品や消耗品の購入に使用している。出納帳をつけており定期的にご家族へ報告している。個人でお金を持っている方もいるが、把握していない。</p>		
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している</p>	<p>電話使用の要望があれば、必要に応じて対応している。ご家族や親戚とハガキのやり取りをしている方もいる。携帯電話の持ち込みも認めている。</p>		
52	19	<p>○居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱を招くような刺激（音、光、色、広さ、湿度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>共有スペースは、家庭的で温かみがあり、季節感を感じられるよう心掛けている。室温や湿度などにも配慮し、感染症や脱水などにならないよう、過ごしやすい環境作りをしている。トイレなどは清潔に保つよう努め、臭いなどにも気をつけている。</p>	<p>共用空間は手作り作品を飾り季節感を出している。定期的に換気を行い、加湿器・除湿器を使用し、利用者の立場での温度調節になるよう配慮している。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	<p>利用者の性格やお互いの相性などを考慮し、席位置など決めている。ゆっくりしたいときは、自分の部屋やソファで過ごしていただいている。</p>		
54	20	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>自宅での愛用品やこだわりがある物の持ち込みを積極的に促している。ご家族の写真を貼ったり仏壇を置いたりしている方もいらっしゃる。</p>	<p>エアコン・ベッド・寝具は備え付けである。時計・暦・写真・仏壇など、個別の希望に応じた持ち込み品で居心地よく過ごせるように設営している。</p>	
55		<p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している</p>	<p>1人ひとりの残存機能に合わせた声かけや介護を行い、それぞれの能力でできる限り自立した生活を送れるように支援している。転倒や怪我などないよう、安全面には十分配慮している。</p>		



## V アウトカム項目

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	○	1 ほぼ全ての利用者の
			2 利用者の2/3くらいの
			3 利用者の1/3くらいの
			4 ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1 毎日ある
			2 数日に1回程度ある
			3 たまにある
			4 ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿が見られている。 (参考項目：36, 37)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない

60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)		1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
		○	4 ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30,31)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により安心して暮らせている。 (参考項目：28)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。 (参考項目：9,10,19)	○	1 ほぼ全ての家族と
			2 家族の2/3くらいと
			3 家族の1/3くらいと
			4 ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)		1 ほぼ毎日のように
			2 数日に1回程度ある
			3 たまに
		○	4 ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)		1 大いに増えている
			2 少しずつ増えている
			3 あまり増えていない
		○	4 全くいない
66	職員は、生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)		1 ほぼ全ての職員が
		○	2 職員の2/3くらいが
			3 職員の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1 ほぼ全ての家族等が
			2 家族等の2/3くらいが
			3 家族等の1/3くらいが
			4 ほとんどいない